

平成24年度 自然環境保全課 組織目標 年度末評価

番号	目標項目	目標		事業の進捗状況	評価（成果と課題）	達成度	25年度の展開・対応
		目標値 (いつまでどこまで達成するのか)	24年度目標値				
③	巨樹・巨木の森の保全（自然生態系の保全・再生）	○巨樹・巨木の森を保全し、豊かな森林環境を親しめる場とする。	○高島市と長浜市のトチノキの保全活動に支援を行う。	○県、市、保全団体、森林所有者による協定書を締結し保全活動を支援。 高島市 76本 長浜市 9本	○当事業2年間で、高島市119本、長浜市11本の巨木保全協定を締結。 ○引き続き事業を進めるとともに、当該制度による5年間の協定期間終了後において巨木が保全される仕組みの検討が必要。	◎	○巨木100本の協定締結を予定。 ○協定期間終了後において巨木が保全される仕組みの検討。
		○伊吹山について、S40年代のお花畑の復元と、刈草を活用した鉱山の採掘跡地の緑化の仕組みづくり	①ニホンジカの侵入防止柵の設置 お花畑1haの保護	①貴重種「ニッコウキスゲ」「ユウスゲ」「ヒロハノアマナ」をニホンジカの食害から守るため、山頂部、3合目、2合目に侵入防止柵を設置（5月9日、5月23日他） 11箇所 7,257㎡	①ニホンジカの食害が著しい貴重種の群落については、ほぼ侵入防止柵を設置。今後、生育状況の把握と維持管理を行う。		①他の貴重種について、食害がないか調査を実施。状況を見て防止柵を追加設置する。
			②山頂で刈り取った草本をボランティアとともに鉱山の採掘跡地の緑化に活用する催し 1回	②H24.11.10に「お花畑の刈草はこび隊」イベントを実施 参加者 27人 作業範囲 アカソ群落 約2,000㎡ フジテンニンソウ群落 約1,000㎡	②運び出した刈草および種子による鉱山採掘跡地での緑化状況を見守る。		②平成24年度に実施した緑化の効果を検証し、引き続き実施することを検討する。
⑧	自然環境保全活動への多様な主体の参加拡大	①自然保護活動に取り組む企業やNPOのネットワーク化	①自然保護活動に取り組む団体等を表彰する仕組みの新設	①滋賀経済同友会との共催により「滋賀生物多様性大賞」を創設。平成25年度から表彰を行う。	①表彰制度をきっかけに、企業・NPO・地域・大学・行政等の新たなネットワークを形成していく。	◎	①平成25年8月頃 募集 平成26年1月頃 表彰式
		②自然保護活動に取り組むボランティア人数の拡大	②ボランティアを積極的に募集して主催する自然保護イベントの回数 5回 延べ人数 300人	②外来水生植物の駆除、外来水生植物に関する研修会の開催、貴重種をニホンジカの食害から守る侵入防止柵の設置などのイベントを開催 延べ実施回数 20回 延べ人数 570人	②新たな外来水生植物オオバナミズキンバイが息処を拡大しており、啓発と自然保護活動に取り組むボランティア層の拡充が必要。		②自然保護活動に積極的な企業やNPO等と連携して、外来水生植物の駆除などを行っていく。